

〈解答〉

- ① 1 (1) 国際分業 (漢字4字) (2) イ (3) グローバル (カタカナ)
2 ア
3 イ
4 a : イ b : ア c : エ d : ウ
5 〔例〕 たがいの文化を尊重し、協力して暮らしていくこと。

配点 各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1(1) それぞれの国が競争力のある得意な産業に力を入れ、競争力のない不得意な産業については外国からの輸入にたよることで、国際分業が行われるようになる。その結果、世界各国は、自国で生産された商品だけで生活を成り立たせるのが難しくなり、たがいに依存するようになってきている。
- (2) 情報化の進展により、インターネットを通じて多様な情報を大量に入手し、共有し、発信できるが、大量の情報の中から必要な情報を適切に選択し、有効に活用する必要がある。また、インターネットで世界中の人々と一瞬のうちにコミュニケーションを取ることができるが、個人情報の流出や悪用のおそれがある。
- (3) グローバル化とは、交通・情報通信技術の発達、貿易の発展などにより、大量の人、物、お金、情報が国境を越えて移動し、世界の一体化が進むことである。グローバル化の進展により豊かで便利になっている点と課題になっている点がある。たとえば、貿易がさかんになってさまざまな国の商品が手に入るようになったが、外国からの食料品の輸入が増え、食料自給率が低くなっている。また、国際競争が加速し、より良い品を安く手に入れることができるようになったが、地球温暖化など、各国が協力して取り組むべき国際問題が増えてきている。
- 2 日本は、他国よりも急速に高齢化が進んでいる。2015年9月現在、日本の高齢者人口は約3384万人で、総人口に占める割合は26.7%となり、80歳以上の人口は1000万人を超えた。
- 3 アはテレビ、ウは新聞、エはラジオである。広告費は景気の影響を受けやすく、2015年はメディア全体では前年を上回っているが、インターネット以外は前年を下

回っている。

- 4 年中行事とは、毎年特定の時期に行われる伝統的な諸行事のことである。
- 5 文化の違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながらともに生きていくことを多文化共生という。多文化共生を実現していくためには、異文化を理解しようとする態度である異文化理解が必要で、異文化を理解することは、自分の文化に対する理解を深めることにもなる。